

NPO 法人 科学技術者フォーラム 平成 30 年 9 月度見学会報告

「(株)SUBARU 群馬製作所矢島工場 見学会報告」

1. 見学日時：平成 30 年 9 月 6 日（木）
2. 見学場所：(株)SUBARU 群馬製作所矢島工場
3. 見学住所：〒373-0822 群馬県太田市庄屋町 1-1
4. 参加人数：49 名（STF 会員 18 名、友好団体 24 名、一般 7 名）
5. 見学概要

9 月のバス利用見学会は群馬県太田市の(株)SUBARU 矢島工場の見学会をおこなった。大宮を 9 時に出発して、あしかがフラワーパークで昼食をとり、午後 1 時に(株)SUBARU 矢島工場に到着し、午後 3 時まで見学を行い、大宮に 5 時 30 分に到着し解散した。以下に見学内容の概略を述べる。

5.1 会社概要

- i 社名：株式会社 SUBARU
- ii 本社所在地：東京都渋谷区恵比寿 1-20-8 エビススバルビル
- iii 代表取締役社長：吉永泰之
- iv 主な事業：a) 自動車：自動車およびその部品の製造、販売および修理
b) 航空宇宙：航空機、宇宙関連機器並びにその部品の製造、販売および修理
- v 主な工場：自動車部門 群馬製作所（本工場、矢島工場、大泉工場、北工場）

5.2 会社の歴史

(株)SUBARU は 2017（平成 29 年）4 月 1 日に古くからある「富士重工業株式会社」を改名して「株式会社 SUBARU」に社名変更した。

その富士重工業は古くは 1917（大正 6 年）中島知久平（元海軍大尉）によって設立された中島飛行機が終戦により GHQ による財閥解体の対象になり、軍需から非軍需産業への転換、スクーターやバスなど輸送用機器開発、企業分割など経て、旧中島飛行機系の主要企業の共同により 1951 年（昭和 28 年）に設立された。

自動車生産部門は 1958 年（昭和 33 年）発売の軽乗用車「スバル：360」およびその派生型である 1961 年（昭和 36 年）発売の軽商用車「スバル：サンバー」が技術的・商業的に大きな成功をおさめたことで、以後「スバル」ブランドの自動車メーカーとして地位を確立し現在に至っている。この他の生産部門としては、航空宇宙部門、産業機器部門、環境技術部門がある。特に航空宇宙部門は会社設立以来の航空機製造技術で培った技術を発展させ、日本の宙航空分野の技術を支えてきている。

5.3 見学工場（矢島工場）の概要

- i 所在地：〒370-0531 群馬県太田市庄屋町 1-1
- ii 土地面積：550,000 m²
- iii 建物延べ面積：257,000 m²
- iv 主な生産品目：LEGACY, IMPREA, SUBARU XV, FORESTER, EXGA CROSSOVER7
- v 工場製造ラインの主な工程：プレス工程、ボディ溶接組立工程、塗装工程、パワーユニット加工・組立工程（この工程は大泉工場）、最終組立工程、完成検査工程から成り立っている。

5.3 工場見学概要

①プレス工程、②ボディ溶接組立工程、③最終組立工程の順に見学者用の高所の見やすいルートから見学することができた。

5.4 Visitor Center の見学

i. エントランスホール

2.0 リッターの直噴ターボ“DIT”エンジンを搭載したヴォーグのパーワートレインの展示がある。

その他、前身の中島飛行機の飛行翼のオブジェの展示。

ii 展示ホール

1958年（昭和33年）に初めて発売した「スバル360」から現在発売の新しいSUBARUまで全部が一望できる。自分の歴史と重ねることができ、感激した。

iii SUBARU ギャラアリー

SUBARU の技術の歴史が展示されている。①ラビットスクーターの50万台記念号、②スバル1000スポーツセダン、③スバル360の開発に使われた石膏原寸モデルなど SUBARU の技術や思想の展示がある。1917年からの中島飛行機研究所からの流れの展示は大変勉強になった。

5.4 見学後記

（株）SUBARUの前身の富士重工業に戦争中の旧中島飛行機系の多くの企業の人が集まり、終戦後の昭和20年代から自動車製造技術を積み上げることが出来たため、昭和33年という早い段階に小型で高性能でしかも低価格の「スバル360」が販売されることができた。このことが普通のサラリーマンでも購入可能な時代の先鞭を作ったことと思われる。それ以後もその延長としてモノづくりメーカーとして発展してきていることが良く理解できた。素晴らしい見学ができた。 記録 矢崎文彦